■正親町天皇　　戦国時代の財政難で朝廷の権威も失墜するなか天皇となり，織豊政権から利用されて，形の上では威信も回復。
おおぎまちてんのう
・・・・・・1517＝　　後奈良天皇の第一皇子として生まれる。諱は方仁(みちひと)。
義興周防帰国1518＝ 1歳：

以後管領不在1526＝ 9歳：

・・・・・・1535＝18歳：

鉄砲伝来・・1543＝26歳：
・・・・・・1544＝27歳：

ザビエル来日1549＝32歳：
川中島の戦始1553＝36歳：
_戦国時代に在位した3代の天皇が全て譲位をすることなく崩御しているのは，譲位のための費用が朝廷になかったからで，朝廷の財政は逼迫し，権威も地に落ちかけるなか，
・・・・・・1557＝40歳：*後奈良天皇の崩御に伴って，ようやく践祚したものの，礼を挙げられなかったが，
戦国武将のなかから突出するものが登場してきて，
大内府内開港1559＝42歳：_安芸国の戦国大名毛利元就から即位料・御服費用の献納を受けたことにより，
桶狭間の戦・1560＝43歳：_即位の礼を挙げることが出来た。本願寺法主顕如も莫大な献金を行っており，天皇から門跡の称号を与えられ，以後，本願寺の権勢が増し，織田信長と対抗するようになっていく
大村長崎開港1562＝45歳：
将軍義輝自刃1565＝48歳：将軍足利義輝が三好義継・松永久秀らに殺害される。_キリスト教宣教師の京都追放を命じる。
・・・・・・1566＝49歳：徳川家康を三河守に任じることで，四方拝の費用の支弁を求め，
岐阜楽市楽座1567＝50歳：美濃攻略を祝して信長に輪旨を送るなど，戦国武将の歓心を買ううち，
織田信長入京1568＝51歳：*織田信長に京都の安穏と禁中の警固を命じ，信長は，天皇を保護するという大義名分により，足利義昭を奉じて入京し，京都を制圧。足利義昭を征夷大将軍に任じ，子の誠仁に親王宣下。信長は，"禁裏御不弁"の用途として一万疋献上するなどして，天皇の歓心を買う一方，
京都宣教許可1569＝52歳：_「殿中御掟」九ヵ条，「追加」七ヵ条を定め，"副将軍"任官を勧めるも受けず，禁裏修造を開始し，家康からの進献で，後奈良天皇十三回忌の法会を執行するなど，依存状態のなか，信長がルイス・フロイスの京都居住を認めたため，ふたたびキリシタン追放を命じるなど，形式的に権威を示すことに必死，
石山合戦始・1570＝53歳：ザビエルの後任の布教責任者コスメ・デ・トーレスは，「日本の世俗国家は，ふたつの権威，すなわちふたりの貴人首長によって分かたれている。ひとりは栄誉の授与にあたり，他は権威・行政・司法に関与する。どちらの貴人も"みやこ"に住んでいる。栄誉に関わる貴人は"おう"と呼ばれ，その職は世襲である。民びとは彼を偶像のひとつとしてあがめ，崇拝の対象としている」と本国に報告している。_信長から排斥されるようになった将軍義昭からも，競うように"禁裏御惣用"として一万疋進献される。信長は，朝倉義景・浅井長政を攻撃し，接戦となるなか，石山本願寺から攻撃を受けたため，勅命を受ける形で，朝倉・浅井と講和するなど，開戦，終戦いずれにも，したたかに天皇の権威を利用，
比叡山焼討・1571＝54歳：誠仁親王の第一皇子(のちの後陽成天皇)が誕生。信長は，比叡山焼き討ちする一方，洛中洛外の領主に田畠一反に一升の米を賦課し，それを"公武御用途・禁裏様の御賄"として京中の町に貸し付ける。
室町幕府滅亡1573＝56歳：_信長に疎まれるようになるなか，信長が二条城の足利義昭を攻撃すると，調停に乗り出し和睦させるが，義昭の挙兵で，室町幕府は倒壊。朝倉・浅井氏も滅亡させるに至り，信長に，譲位の意向を伝える。
長島一揆鎮圧1574＝57歳：信長に蘭奢待の切り取りを許可するなど，権威も落ち込み，
長篠の戦・・1575＝58歳：信長は，儲君の誠仁親王を天皇にして，より朝廷の権威を利用しようとしたが，天皇はそれを最後まで拒んだといい，本能寺の変に関して朝廷関与説が浮上するのも，このような事情による。_信長自ら，公家・門跡に徳政令を出し，新地を宛行，公家の"五人の奉行"を設置するまでになる。信長を大納言に任じ，
安土楽市楽座1577＝60歳：信長の_生前の極官となる右大臣を宣下したが，
上杉謙信没・1578＝61歳：_信長は辞して，戦を続け，毛利水軍を撃破すると，
石山合戦終・1580＝63歳：_安土城に入って，二条屋敷は誠仁親王に進献。長年続いた石山本願寺との戦いも，勅命による講和をもって終焉させて，覇権を確立。信長から，安土屏風を御覧に入れられ，
ﾊﾞﾘﾆｬｰﾉ謁見 1581＝64歳：ヴァリニャーノを謁見し，_京都で大規模な馬揃えを行い，左大臣に推任するも固辞するなど，権力を誇示したため，信長に退位の意向を伝え，いったんは朝議決定するも，おそらく信長の反対で，一転中止に。
本能寺の変・1582＝65歳：*信長を太政大臣か関白さらには将軍にすると申し入れるうち，本能寺の変で，信長が暗殺され，あわてて明智光秀のもとに勅使を派遣，光秀から，誠仁親王とともにに銀500枚ずつ進上されるが，山崎の戦いで，光秀も死去。織田信孝と羽柴秀吉に勅使を派遣し太刀を贈り，本命と分かった秀吉に昇殿と少将任官を勧めるも，固辞され，大徳寺において信長の葬儀を行ったのに合わせて，信長へ従一位太政大臣を贈った。豊臣氏へ政権が移った後も，秀吉は御料地や黄金を献上して，天皇を政権の後ろ楯としたことから，
長久手の戦・1584＝67歳：秀吉を従三位大納言に叙任し，
豊臣秀吉関白1585＝68歳：正二位内大臣から，_関白に任ずるに至る。参内した秀吉は自ら，親王・准后の座次を定める。
秀吉太政大臣1586＝69歳：秀吉からの歌と桜の枝の進上に対し，歌を秀吉に贈る。_誠仁親王が死去，孫の和仁親王(後陽成天皇)に譲位して隠退。後陽成天皇の即位礼はすぐに行われ，近衛前久の女前子が秀吉の養女として入内する。
・・・・・・1589＝72歳：
秀吉全国統一1590＝73歳：
_秀吉は中国・朝鮮や東南アジアへの進出という壮大な野望を抱き，明を征服した暁には"叡慮"を明に移し，その後の"日本帝位の儀"をはじめとした朝廷人事についても構想していたとされ，この計画は朝鮮出兵での失敗によって頓挫したものの，結果的に皇室の権威は高まるなか，
方広寺大仏殿1593＝76歳：_崩御した。

Wikipedia，藤井譲治「天皇と天下人」，